

GREEN RANGER NEWS

2022年6月号 Vol.338



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■5月の活動報告

5月8日(日) 春を食べる会(35周年記念誌完成祝)山菜取り

現地に着くや探す、会えました日本固有種と言われる「シラネアオイ」に！さらに気になる植林したブナの花、雄花は落ち、雌花のところに実ができたかの如く膨らんでいる。このまま結実してほしいと願う。作業小屋に行くと皆さん忙しそう。この大量のウドとワラビはどうしたのか。今日の予定は、そうでしたね、今日は「春を食べる会」でした。予定の確認もせずに来たのは内緒にしておく。散策しながらイラクサやシドケ、コゴミなどを採り、あっという間にお昼、準備に入る。天ぷらや和え物やお浸しやら、コロナ禍で身内だけのささやかな「春を食べる会」とは言え、それなりに大変だが、採り立ての山菜は美味しい、自然に感謝！！



シラネアオイ、ブナの雌花

午後、腹ごなしに彩遊の森を散策に行く。ヤマツツジはまだ早い様だがシロヤシオは盛り、植林したトチノキに花芽がニョキニョキ、イカリソウやスマレは盛り、ヤマナシはもう終りだがズミは咲き誇っている。ヒメギフチョウが卵を産み、木々は若葉が芽吹き、まさに自然が生きているのをさらに感じる。参加者:10名



春を食べる会

<速報>動物観察班からメールが来た。リスの森混交林のカメラが”ニホンザル”を撮らえたと！！

5月22日(日) [8m以上の樹木調査、看板清掃、苗畑整理]

久々の雨、植物たちにとっては嬉しいだろう。駐車場に着いてもやまない。クリンソウが笑顔で迎えてくれた。意を決して、カッパを着て脚立を持ち、まずは彩遊の森へ動物観察カメラの設定に行く。途中、ツツジやウツギやガマズミやミズキやアキグミなどの花が迎えてくれるが、メガネは曇り、カメラの焦点も定かでない。水場に以前在ったゼリー状の卵と2週間前にできたチューブ状の卵は、食べられたのか自然消滅したのか跡形もない。その帰り、水のない幹道中央で「イモリ！」

との声。ゆったり這っている。「トウホクサンショウウオ」じゃないかとざわめく。

アナグマの森へ、今回もアナグマの姿は撮れていないかもと。先日の仲睦まじさから、引っ越したとは思いたくないので、もう少し様子を見たいと思う。植林したブナの実を確認に行く、まだ落ちてないので安心する。

リスの森でもカメラの設定をし、ブナの実も確認する。ミツデカエデの赤い実を見上げて、青空だったらもっと綺麗だろうと残念がる。カジカエデの実はまだ若草色、ヤブデマリやミツバウツギの花は三分咲き、これからが楽しみ。

小屋に戻り、昼食後、イモリでないとしたら何だ?!とスマホで検索もしながら実写真と見比べる。願望もあり「トウホクサンショウウオ」ではないかと期待する。だが、不安、帰宅してからも Net 検索。写真のできが悪いのか、肌がツルリンとした感じではない様な。せめて指の本数を調べるべきだったと悔やむ。
参加者:3名



クリンソウ、ゼンテイカ(ニッコウキスゲ)



イモリ or サンショウウオ?

■今後の活動案内

[例会]

日 時 6月12日(日)10時
場 所 作業小屋
内 容 手鋸での枝打ち整形、自然観察

[例会]

日 時 6月26日(日)10時
場 所 作業小屋
内 容 手鋸での枝打ち整形